

# 施設カルテ

施設番号	174	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
------	-----	-----	------------	-----	------------

## 施設基本情報

施設名	御津第二 分団(下畑)機庫				
所在地(住所)	北区御津高津1715-004-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	御津		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	御津中学校	小学校区	御津小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	32.40 m <sup>2</sup>		
目的外使用	無	建築面積	32.40 m <sup>2</sup>		
土地所有状況	—	敷地面積	60.00 m <sup>2</sup>		



施設概要	消防施設 分団機庫				
------	-----------	--	--	--	--

設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する				
------	---	--	--	--	--

設置根拠	消防法、消防組織法				
------	-----------	--	--	--	--

用途地域	指定なし		法定容積率	— %		法定建蔽率	— %		
用途地域以外の指定地域	指定なし		全棟数	1棟		駐車台数	1台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	○		階段	×	地震・危険度	—		
	通信設備	×		昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度5強の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1998/03/31	供用廃止日	—

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》  
 ★グラフ対象指標区分  
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号 174 施設名 御津第二 分団(下畑)機庫

## 財務情報

### ●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		14	13	13	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	6	4	4
		ガス	0	0	0
		水道	9	9	9
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

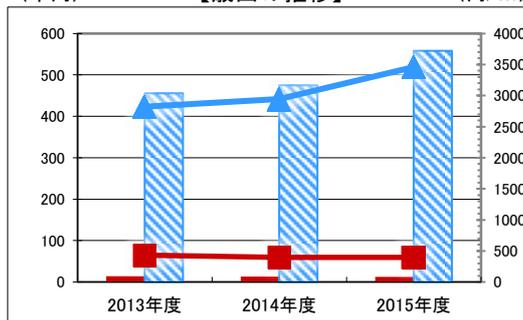
### ●歳入

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳入合計		0	0	0	
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
		目的外使用料	-	-	-
		その他	-	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-	

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

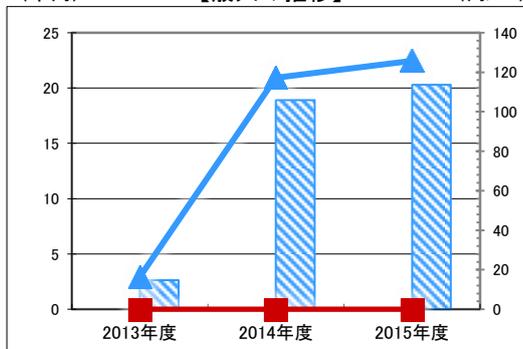
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	14 第122位	434	第98位
2014年度	13 第133位	401	第117位
2015年度	13 第133位	397	第109位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

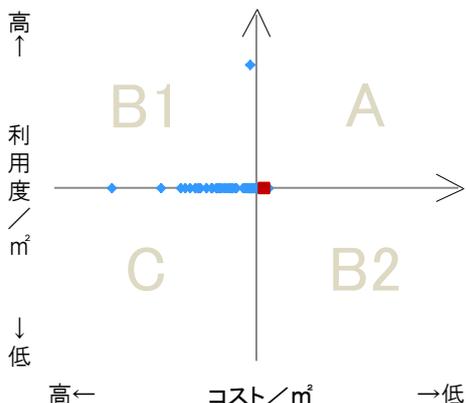
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号	175	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
------	-----	-----	------------	-----	------------

## 施設基本情報

施設名	御津第二 分団(本村)機庫				
所在地(住所)	北区御津紙工2568-001-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	御津		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	御津中学校	小学校区	御津小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	23.19 m <sup>2</sup>		
目的外使用	無	建築面積	23.19 m <sup>2</sup>		
土地所有状況	—	敷地面積	363.00 m <sup>2</sup>		



施設概要	消防施設 分団機庫				
------	-----------	--	--	--	--

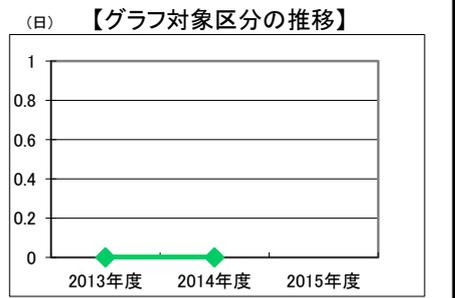
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する				
------	---	--	--	--	--

設置根拠	消防法、消防組織法				
------	-----------	--	--	--	--

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %					
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	建物全壊率が3%未満の地域	
	冷暖房設備	×		階段	×	地震・揺れやすさ	震度5強の地域	地震・液化化危険度	極めて低い	
	通信設備	×		昇降機	×	地震・土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)			
	調理設備	×		便所	×					
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×			
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	2001/11/16	供用廃止日	—	

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》  
 ★グラフ対象指標区分  
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号	175	施設名	御津第二 分団(本村)機庫
------	-----	-----	---------------

## 財務情報

### ●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		12	4	4	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	12	4	4
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
修繕費	-	-	-		
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

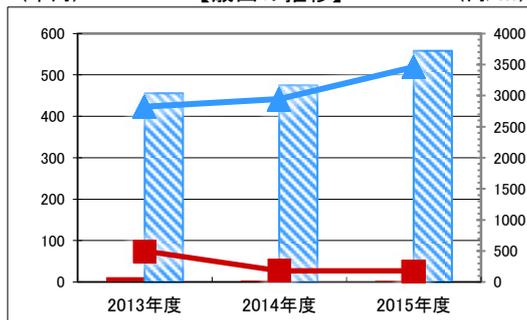
### ●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
		その他	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-
目的外使用料	-	-		

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

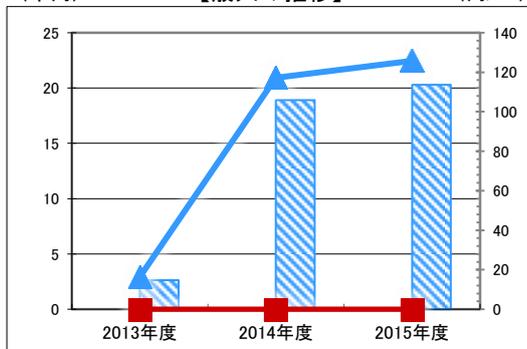
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	12 第139位	499	第85位
2014年度	4 第167位	188	第160位
2015年度	4 第166位	181	第158位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

## 特記事項

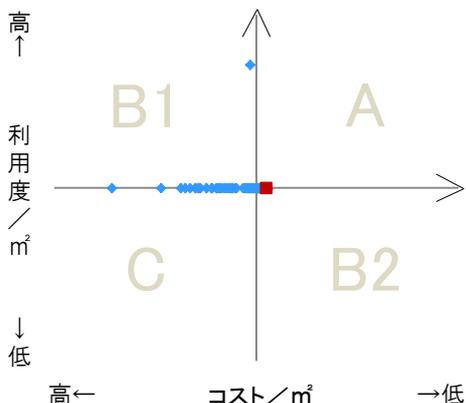
危険度3%未満

## 施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号 176 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

## 施設基本情報

施設名	御津第三 分団(河内)機庫			
所在地(住所)	北区御津河内1717-002-00			
所管局区室課	消防局消防企画総務課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設	
財産中分類	公用財産	地区	御津	
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫	
中学校区	御津中学校	小学校区	御津南小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設	
管理運営	直営	延床面積	40.00 m <sup>2</sup>	
目的外使用	無	建築面積	40.00 m <sup>2</sup>	
土地所有状況	—	敷地面積	1,550.10 m <sup>2</sup>	

施設概要	消防施設 分団機庫
------	-----------

設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
------	---

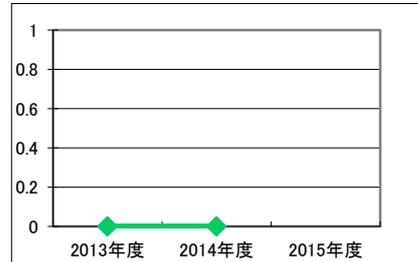
設置根拠	消防法、消防組織法
------	-----------

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %					
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		屋上緑化・壁面緑化	×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		設備(電気)	×		地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域		
	通信設備	×		設備(雨水・中水)	×		地震・揺れやすさ	震度5強の地域		
	調理設備	×		その他省エネ	×		地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		土砂災害計画区域等	指定なし		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1985/12/01	供用廃止日	—
							出入口	×		
							廊下等	×		
							階段	×		
				昇降機	×					
				便所	×					
				駐車場	×					

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号	176	施設名	御津第三 分団(河内)機庫
------	-----	-----	---------------

## 財務情報

### ●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		25	14	16	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	22	12	13
		ガス	0	0	0
		水道	3	3	3
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

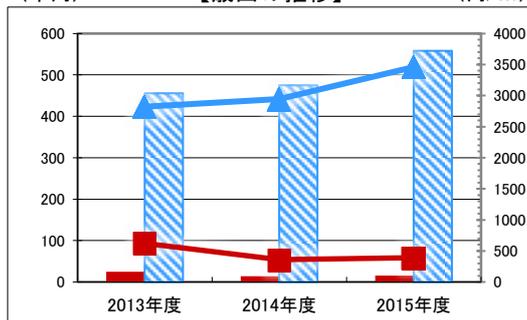
### ●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

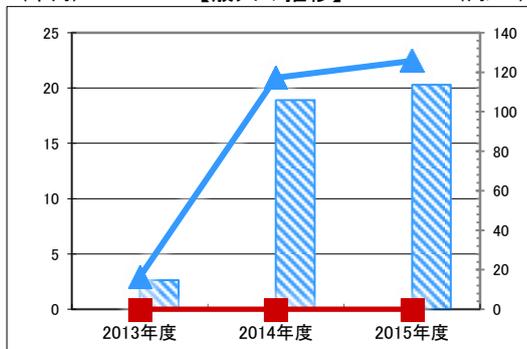
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	25 第76位	625	第67位
2014年度	14 第126位	361	第124位
2015年度	16 第120位	391	第111位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

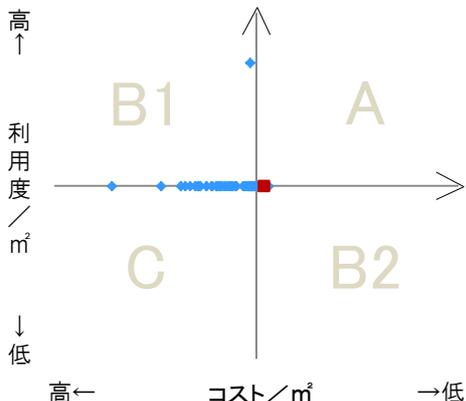
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号 177 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

## 施設基本情報

施設名	御津第三 分団(野々口)機庫		
所在地(住所)	北区御津野々口0484-000-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地区	御津
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	御津中学校	小学校区	御津南小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	31.50 m <sup>2</sup>
目的外使用	無	建築面積	31.50 m <sup>2</sup>
土地所有状況	—	敷地面積	208.26 m <sup>2</sup>



施設概要	消防施設 分団機庫
------	-----------

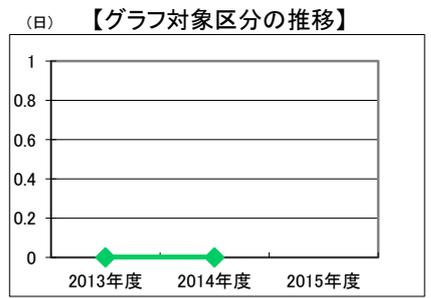
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
------	---

設置根拠	消防法、消防組織法
------	-----------

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域
	冷暖房設備	○		階段	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域	地震・液化化危険度	低い
	通信設備	×		昇降機	×	地震・液状化危険度	低い	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	調理設備	×		便所	×	開設年月日	1900/01/01	供用廃止日	—
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無				
				自然エネルギー・太陽光	×				
				屋上緑化・壁面緑化	×				
				設備(電気)	×				

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》  
 ★グラフ対象指標区分  
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号	177	施設名	御津第三 分団(野々口)機庫
------	-----	-----	----------------

## 財務情報

### ●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		4	13	12	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	4	13	12
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

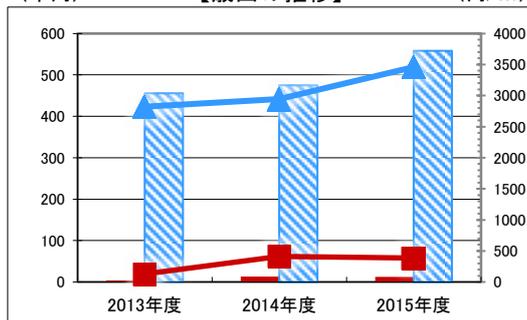
### ●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
		その他	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-
	目的外使用料	-	-	

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

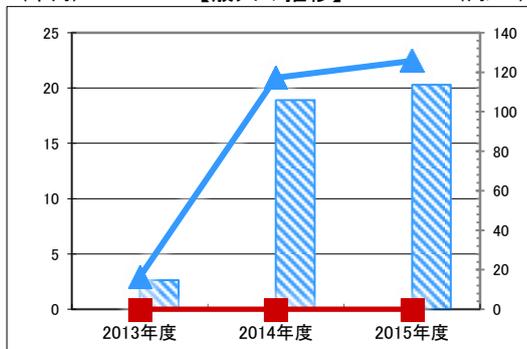
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	4 第170位	130	第164位
2014年度	13 第132位	414	第113位
2015年度	12 第134位	389	第112位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

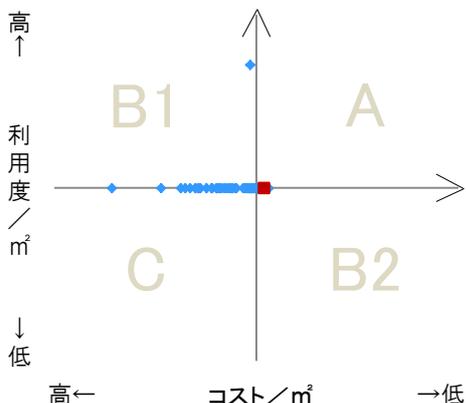
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号	178	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
<b>施設基本情報</b>					
施設名	御津第四 分団(中山)機庫				
所在地(住所)	北区御津中山0776-001-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	御津		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	御津中学校	小学校区	御津南小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	17.49 m <sup>2</sup>		
目的外使用	無	建築面積	17.49 m <sup>2</sup>		
土地所有状況	—	敷地面積	106.55 m <sup>2</sup>		



施設概要	消防施設 分団機庫								
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する								
設置根拠	消防法、消防組織法								
用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし	
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3～5%の地域		
	通信設備	×		昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×	土砂災害計画区域等	警戒区域(土石流)
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無	開設年月日	1900/01/01	供用廃止日	—

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備

考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号 178 施設名 御津第四分団(中山)機庫

## 財務情報

### ●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		57	37	26	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	39	18	17
		ガス	0	0	0
		水道	18	18	9
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

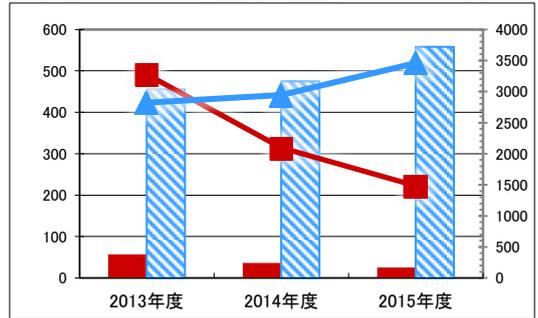
### ●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金	-	-
		(使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
	その他	-	-	
直営	使用料及び手数料	-	-	
	目的外使用料	-	-	

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

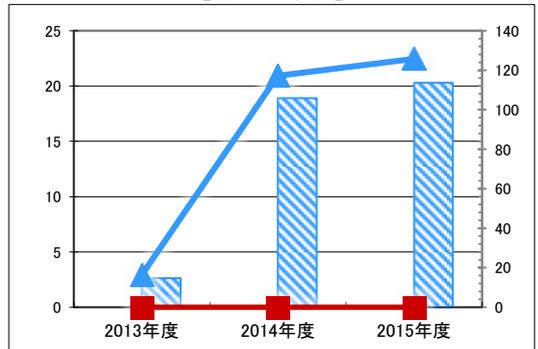
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)		円/㎡
2013年度	57	第31位	3,276 第20位
2014年度	37	第58位	2,097 第27位
2015年度	26	第77位	1,485 第37位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

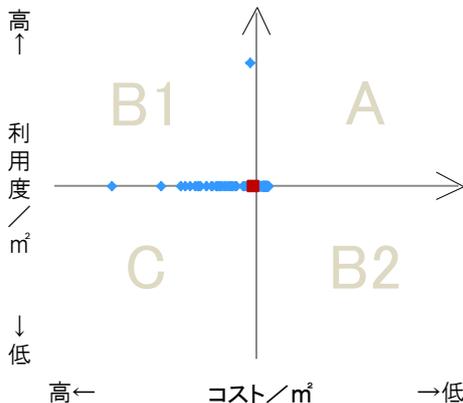
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号	179	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
<b>施設基本情報</b>					
施設名	御津第四 分団(国ヶ原)機庫				
所在地(住所)	北区御津国ヶ原0692-002-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	御津		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	御津中学校	小学校区	御津南小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	53.00 m <sup>2</sup>		
目的外使用	無	建築面積	53.00 m <sup>2</sup>		
土地所有状況	—	敷地面積	141.00 m <sup>2</sup>		



施設概要	消防施設 分団機庫						
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する						
設置根拠	消防法、消防組織法						
用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %		
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	ハザードマップ指定	津波時の浸水深	指定なし
	冷暖房設備	○	設備(電気)	×	ハザードマップ指定	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	ハザードマップ指定	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	ハザードマップ指定	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	ハザードマップ指定	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	ハザードマップ指定		
					開設年月日	1900/01/01	供用廃止日

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号	179	施設名	御津第四分団(国ヶ原)機庫
------	-----	-----	---------------

## 財務情報

●歳出 (千円)

区分	2013年度	2014年度	2015年度		
歳出合計	12	21	29		
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	12	21	20
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	9	
外 訳					
役員費	-	-	-		
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

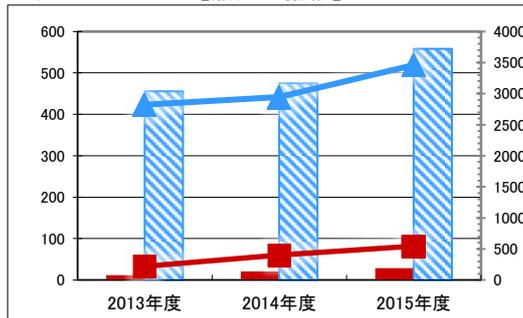
●歳入 (千円)

区分	2013年度	2014年度	2015年度	
歳入合計	0	0	0	
内 訳	指定管理			
	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
直営				
使用料及び手数料	-	-	-	
目的外使用料	-	-	-	

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

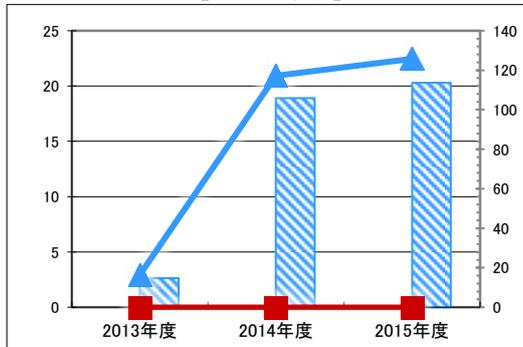
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	12 第137位	221	第144位
2014年度	21 第107位	401	第118位
2015年度	29 第68位	545	第76位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

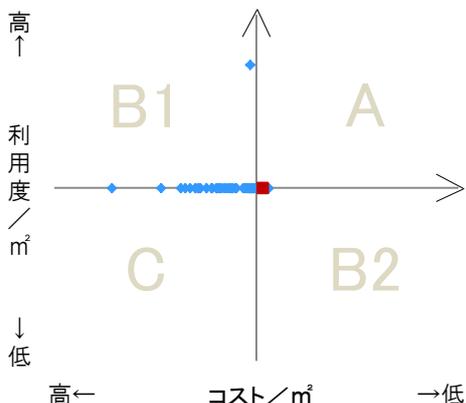
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号 180 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

## 施設基本情報

施設名	角山 分団機庫		
所在地(住所)	東区才崎0460-007-00		
所管局区室課	消防局消防企画総務課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設
財産中分類	公用財産	地区	上道
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫
中学校区	上道中学校	小学校区	角山小学校
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設
管理運営	直営	延床面積	66.56 m <sup>2</sup>
目的外使用	無	建築面積	33.28 m <sup>2</sup>
土地所有状況	—	敷地面積	160.87 m <sup>2</sup>



**施設概要** 消防施設 分団機庫

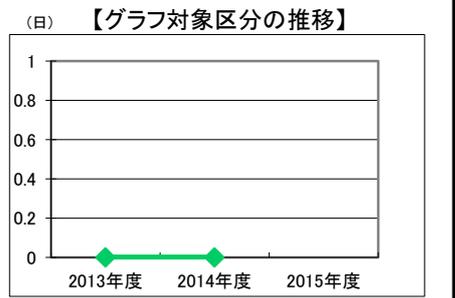
**設置目的** 火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する

**設置根拠** 消防法、消防組織法

用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %				
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台				
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満	
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域
	冷暖房設備	○		階段	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域	地震・液状化危険度	きわめて高い
	通信設備	×		昇降機	×	地震・液状化危険度	きわめて高い	土砂災害計画区域等	指定なし
	調理設備	×		便所	×	開設年月日	2007/02/27	供用廃止日	—
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙	駐車場	×		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無				

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》  
 ★グラフ対象指標区分  
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号 180 施設名 角山 分回機庫

## 財務情報

### ●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	0	0	0
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

### ●運営人員数(人)

種別	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

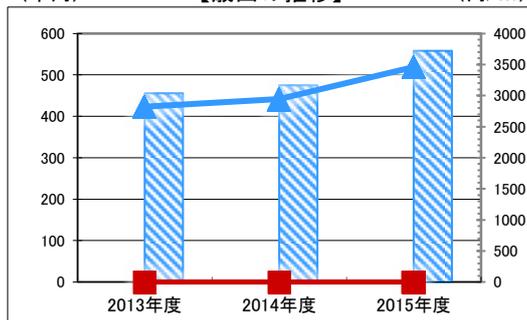
### ●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
		その他	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-
	目的外使用料	-	-	

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

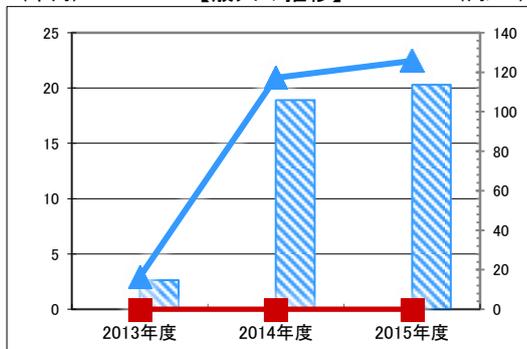
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	0	-
2014年度	0	0	-
2015年度	0	0	-

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

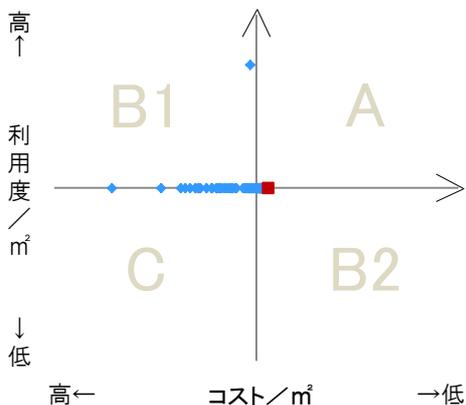
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号	182	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
<b>施設基本情報</b>					
施設名	興除 第2 分団(曾根)				
所在地(住所)	南区曾根0402-001-00				
所管局区室課	消防局消防企画総務課				
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設		
財産中分類	公用財産	地区	興除		
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫		
中学校区	興除中学校	小学校区	曾根小学校		
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設		
管理運営	直営	延床面積	67.06 m <sup>2</sup>		
目的外使用	無	建築面積	37.67 m <sup>2</sup>		
土地所有状況	—	敷地面積	171.00 m <sup>2</sup>		



施設概要	消防施設 分団機庫						
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する						
設置根拠	消防法、消防組織法						
用途地域	指定なし	法定容積率	200 %	法定建蔽率	60 %		
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	ハザードマップ指定	津波時の浸水深	0.01~0.3m未満
	冷暖房設備	○	設備(電気)	×	ハザードマップ指定	地震・危険度	建物全壊率が3~5%の地域
	通信設備	×	設備(雨水・中水)	×	ハザードマップ指定	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域
	調理設備	×	その他省エネ	×	ハザードマップ指定	地震・液状化危険度	低い
	入浴設備	×	分煙対策	全面禁煙	ハザードマップ指定	土砂災害計画区域等	指定なし
	代替電源設備	×	アスベストの使用	無	ハザードマップ指定		
					出入口	×	
				廊下等	×		
				階段	×		
				昇降機	×		
				便所	×		
				駐車場	×		
				開設年月日	2006/12/11	供用廃止日	—

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分

※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。

[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号 182 施設名 興除 第2 分団(曾根)

## 財務情報

### ●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		8	9	10	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	0	0	0
		ガス	0	0	0
		水道	8	9	10
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

### ●歳入

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳入合計		0	0	0	
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-	-
		目的外使用料	-	-	-
		その他	-	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-	

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

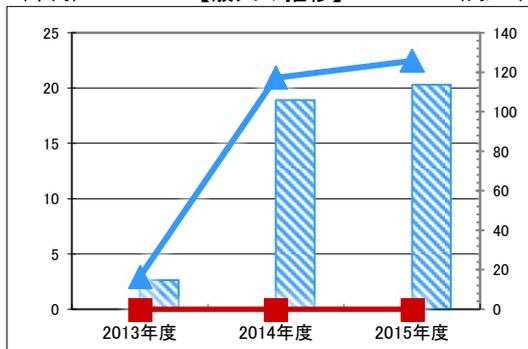
施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	8 第153位	126	第167位
2014年度	9 第153位	129	第173位
2015年度	10 第143位	152	第163位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

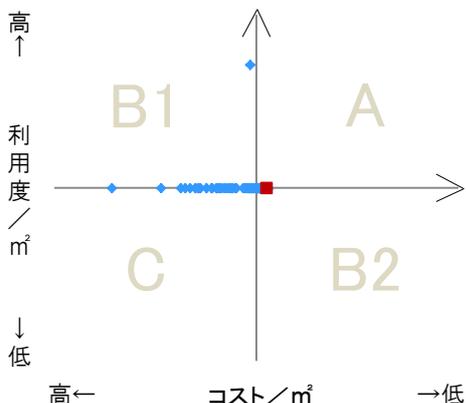
## 特記事項

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■ ... 当該施設 ◆ ... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号	183	基準日	2015/04/01	出力日	2017/03/09
------	-----	-----	------------	-----	------------

## 施設基本情報

施設名				古都分団 中央機庫	
所在地(住所)				東区中央0000-000-00	
所管局区室課				消防局消防企画総務課	
FM大分類		行政事務系施設		FM中分類	
財産中分類		公用財産		消防施設	
財産小分類		消防施設		西大寺(本庁管轄区域)	
中学校区		旭東中学校		財産細分類	
複合化状況		無		分団機庫	
管理運営		直営		小学校区	
目的外使用		無		古都小学校	
土地所有状況		-		防災上必要な施設	
				防災業務施設	
				延床面積	
				42.25 m <sup>2</sup>	
				建築面積	
				42.25 m <sup>2</sup>	
				敷地面積	
				142.71 m <sup>2</sup>	



施設概要	消防施設 分団機庫				
------	-----------	--	--	--	--

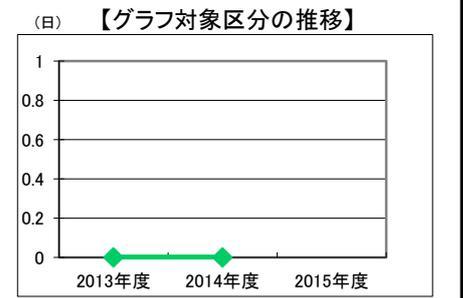
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する				
------	---	--	--	--	--

設置根拠	消防法、消防組織法				
------	-----------	--	--	--	--

用途地域	指定なし		法定容積率	200 %		法定建蔽率	60 %		
用途地域以外の指定地域	指定なし		全棟数	1棟		駐車台数	1台		
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	洪水時の浸水深	1.0~2.0m未満		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×	津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	×		階段	×	地震・危険度	建物全壊率が3%未満の地域		
	通信設備	×		昇降機	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域		
	調理設備	×		便所	×	地震・液状化危険度	低い		
	入浴設備	×		駐車場	×	土砂災害計画区域等	警戒区域(急傾斜)		
	代替電源設備	×		開設年月日	2005/12/28		供用廃止日	-	
				分煙対策	全面禁煙				
		アスベストの使用	無						

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑲					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》  
 ★グラフ対象指標区分  
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号 183 施設名 古都分団 栄甘機庫

## 財務情報

### ●歳出

区分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		21	19	20	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	13	11	10
		ガス	0	0	0
	水道	8	9	10	
修繕費	-	-	-		
外 訳	役員費	-	-	-	
	委託料	-	-	-	
	使用料及び賃借料	-	-	-	
	備品購入費	-	-	-	
	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

区分	2013年度	2014年度	2015年度
常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

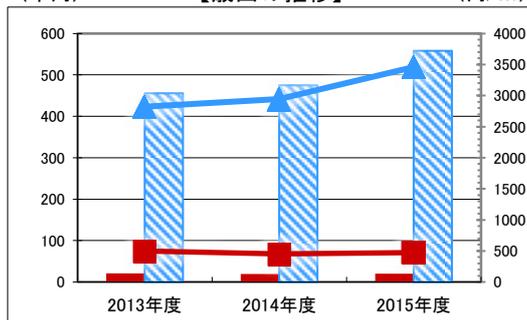
### ●歳入

区分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
		-	-	-
外 訳 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

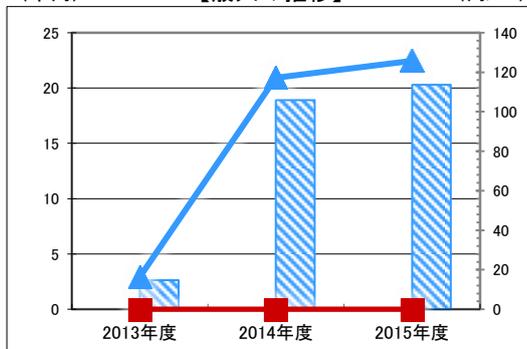
施設分類	消防施設	総施設数	195
区分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	21 第95位	500	第83位
2014年度	19 第113位	453	第101位
2015年度	20 第108位	475	第86位

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 総額(千円) 延床面積あたり(円/㎡)

## 特記事項

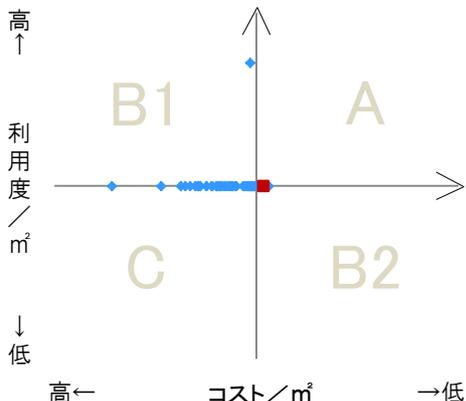
危険度3%未満

## 施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



# 施設カルテ

施設番号 185 基準日 2015/04/01 出力日 2017/03/09

## 施設基本情報

施設名	建部 第1分団(1部) 機庫			
所在地(住所)	北区建部町福渡0495-002-00			
所管局区室課	消防局消防企画総務課			
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	消防施設	
財産中分類	公用財産	地区	建部	
財産小分類	消防施設	財産細分類	分団機庫	
中学校区	建部中学校	小学校区	福渡小学校	
複合化状況	無	防災上必要な施設	防災業務施設	
管理運営	直営	延床面積	103.22 m <sup>2</sup>	
目的外使用	無	建築面積	55.22 m <sup>2</sup>	
土地所有状況	—	敷地面積	121.98 m <sup>2</sup>	

施設概要	消防施設 分団機庫
------	-----------

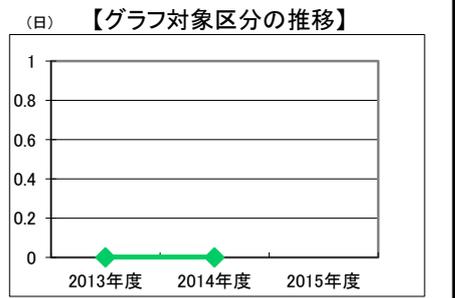
設置目的	火災を予防し、警戒し及び鎮圧し、国民の生命身体及び財産を火災から保護するとともに、火災又は地震等の災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
------	---

設置根拠	消防法、消防組織法
------	-----------

用途地域	指定なし	法定容積率	— %	法定建蔽率	— %					
用途地域以外の指定地域	指定なし	全棟数	1 棟	駐車台数	1 台					
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	環境配慮	出入口	×	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	指定なし		
	災害用備蓄の有無	×		廊下等	×		津波時の浸水深	指定なし		
	冷暖房設備	○		階段	×		地震・危険度	建物全棟率が3%未満の地域		
	通信設備	×		昇降機	×		地震・揺れやすさ	震度5強の地域		
	調理設備	×		便所	×		地震・液状化危険度	極めて低い		
	入浴設備	×		分煙対策	全面禁煙		土砂災害計画区域等	特別警戒区域(土石流)		
	代替電源設備	×		アスベストの使用	無		開設年月日	1900/01/01	供用廃止日	—
							駐 車 場	×		
							全 棟 数	1 棟		
							出 入 口	×		

## 供給情報

区 分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 ◆ 年間開館日数(日)

《注記》  
 ★グラフ対象指標区分  
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備 考

# 施設カルテ

基準日 2015/04/01

## 施設基本情報

施設番号 185 施設名 建部 第1分団(1部) 機庫

## 財務情報

### ●歳出

区 分		(千円)			
		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		17	49	35	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	9	33	26
		ガス	0	0	0
		水道	8	16	9
	修繕費	-	-	-	
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	-	-	-	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

### ●歳入

区 分		(千円)		
		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金	-	-	-
	(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
外 直営	使用料及び手数料	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	消防施設	総施設数	195
区 分	総額(千円)		円/㎡
2013年度	17	第111位	169 第157位
2014年度	49	第40位	472 第96位
2015年度	35	第57位	336 第121位

## 特記事項

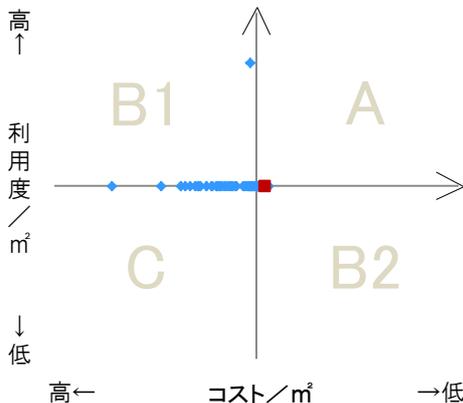
危険度3%未満

## 施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



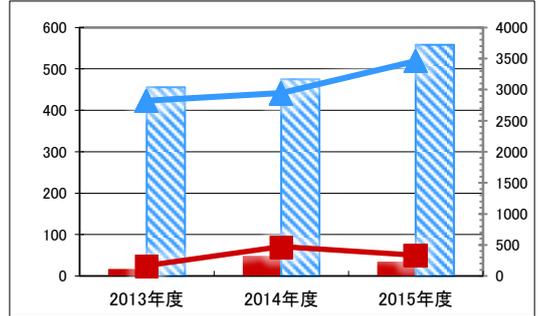
・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。  
・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

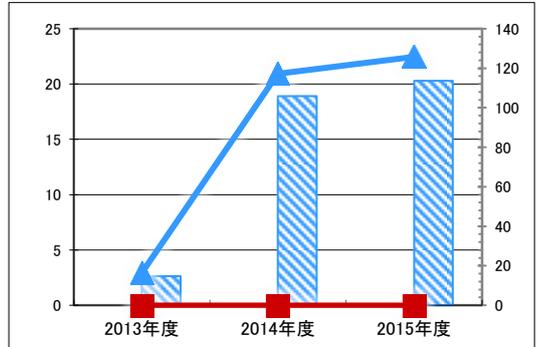
※利用度...供給情報の★印の項目値

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)

